

日ト発第115879号

平成22年 5月11日

会 員 各 位

社団法人日本トンネル技術協会

事業委員長 桑 原 彌 介

公 印 略

北海道新幹線（本州方）津軽蓬田^{よもぎた}トンネル現場研修会開催のご案内

拝啓時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃から本会事業活動には種々ご支援賜り誠に有り難うございます。

さてこのたび、(独)鉄道・運輸機構東北新幹線建設局はじめ関係各位のご協力により下記のとおり現場研修会を開催することといたしました。

津軽蓬田トンネルでは、国内2例目となるNATMとシールドを融合した新しいトンネル工法（SENS）により施工を展開しています。トンネル技術者にとり誠に興味深い現場であると存じますので、多数ご参加下さいますようご案内申し上げます。

なお、本研修会は(社)土木学会の CPD プログラムに認定されているほか、土木学会トンネル工学委員会後援事業でもあります。

敬具

記

1. とき：平成22年6月4日(金)

2. 工事概況

| | |
|-----|---|
| 工事名 | 北海道新幹線、津軽蓬田トンネル他1工事 |
| 発注者 | (独) 鉄道・運輸機構鉄道建設本部東北新幹線建設局 |
| 施工者 | 鹿島・鉄建・梅林・田中組特定建設工事共同企業体 |
| 概 要 | 工事延長：他1工事 L=4,050m (SENS 区間 3,880m) 地 質：未固結～半未固結砂岩層の蟹田層他 土 被 り：最小 3m、最大 90m SENSマシン：掘削外径 11.3m、泥土圧式 工法概要：SENS 工法とは、シールド工法の安全性と施工性、NATM の経済性を併せもった工法です。 施工の手順は、密閉型のシールドマシンにより切羽の安定を図りながら掘削を進め、次に掘進と併行してシールドマシンのテール部で一次覆工となる場所打ちコンクリートを打設し、一次支保材として地山を保持しながらトンネルを構築し、次に計測により一次覆工の安定を確認した後 NATM と同様に二次覆工を施工するという方法です。 |

3. 定 員：30名

4. 参加費：会 員 8,000円、一 般 12,000円

5. 行程：12：40 JR 青森駅西口改札口集合、バスにて移動
 (西口は列車を降りて保線橋を右側に曲がって降りたところです。)
 13：30 共同企業体現場事務所着、工事概況説明、ヘルメット貸与
 (連絡先 TEL 0174-31-3640)
 14：00 現場見学
 15：00 質疑応答、ヘルメット返却
 15：30 現場発、バス移動
 16：30 青森駅前、解散

6. 申込方法：下記申込書ご利用のうえ参加者氏名、年齢、所属、電話番号を当協会宛
 FAX(03-3553-6145)をもってお申込下さい。受付番号をお知らせします。

7. 支払方法：上記申込ののち、郵便振替用紙通信欄に行事名と参加者氏名、受付番号を記入のう
 え下記へお振込願います。現金書留でも結構です。

郵便振替口座 00160-7-196331 社団法人日本トンネル技術協会

8. その他：

①ヘルメットは現場にて貸与して頂きますが、汚れてもよい服装・靴でご参加願います。

②参加費の払戻しはいたしかねますが、代理参加は差し支えありません。

北海道新幹線（本州方）津軽蓬田^{ともぎた}トンネル現場研修会申込書

下記申込みに係る個人情報につきましては、他に利用するものではありません。

| | | |
|--------|-----|---|
| 参加者氏名： | 年齢： | |
| TEL： | — | — |
| 会社名： | | |
| 所属役職： | | |